

日本国債の電子取引システムを運営するジェイ・ボンド東短証券(東京・港、斎藤聖美社長)は、月内に債券貸借(レポ)取引を始める。私設取引システム(PTS)でレポを扱うのは国内で初めて。PTSが取引所に似た役割を果たすこと

私設システムで 債券貸借取引

ジェイ・ボンド東短証券

で、銀行や証券会社は調達金利と運用金利が一覧できるようになる。

すでに複数の金融機関が活用する意向を示しているという。レポ取引は一時的に資金を調達したり債券を借り入れたりするときに金融機関が利用している。